伊方原発をとめる会 3.9記念講演

「私たちは呆れ果てても、諦めない」
ー福島からのメッセージー

会津放射能情報センター代表
子ども脱被ばく裁判の会共同代表
片岡　輝美

自己紹介を少し…



会津若松は福島第一原発から西に100キロ



日本キリスト教団若松栄町教会


駐車禁止



本日のお話を始めるにあたり…

明日の自由を守る若手弁護士の会／あ…
@asuno_jiyuu

私たちが主権者としてできることは、
・忘れないこと。
・しっかり言葉にすること。
・あきらめないこと。
地道に続けるのはしんどいけれども、「自分なりの形」でいいし、微力でいい。ヒーローなんていないのですから、微力を集めればいい。憲法は、必ず微力が集まることを信じて書かれています。



128　コメント34件　シェア47件

2011年3月11日 午後2時46分
東日本大震災発生

東京電力 福島第一原発
「原子力核災害」発生

同日午後7時3分
原子力緊急事態宣言

14年経った今も、解除されず…
なのに、帰還や移住施策が進んでいる…

年20ミリシーベルトの被ばく限度量



2011年3月14日午前11時1分 3号機

- 3月12日午後3時36分　1号機水素爆発
- 3月14日午前11時1分　3号機水素爆発
- 3月15日午前6時12分　4号機水素爆発
- 1，2，3号機でメルトダウン発生

国際原子力事故評価尺度 レベル7

1，原子力政策に反対する5つの理由

原子力政策に反対する理由

①13年間、東電の原発が稼働していなくても、東京の電力に支障がないから

2011年以降、約2年間全ての原発は停止

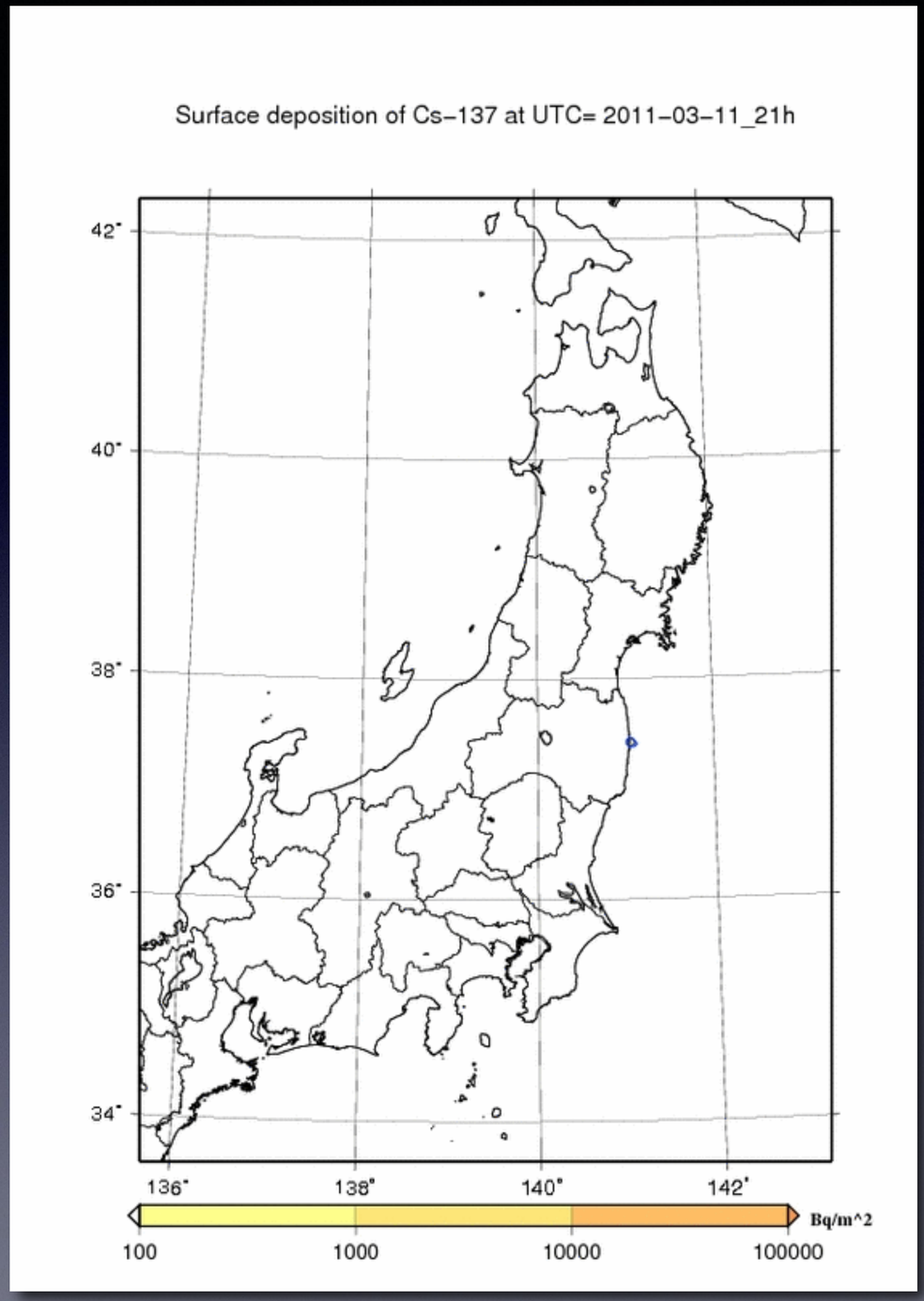
原子力政策に反対する理由

② 原子力核災害は
世界最悪の環境汚染だから

国境を越えて拡がる汚染
世代を越えて続く被ばく

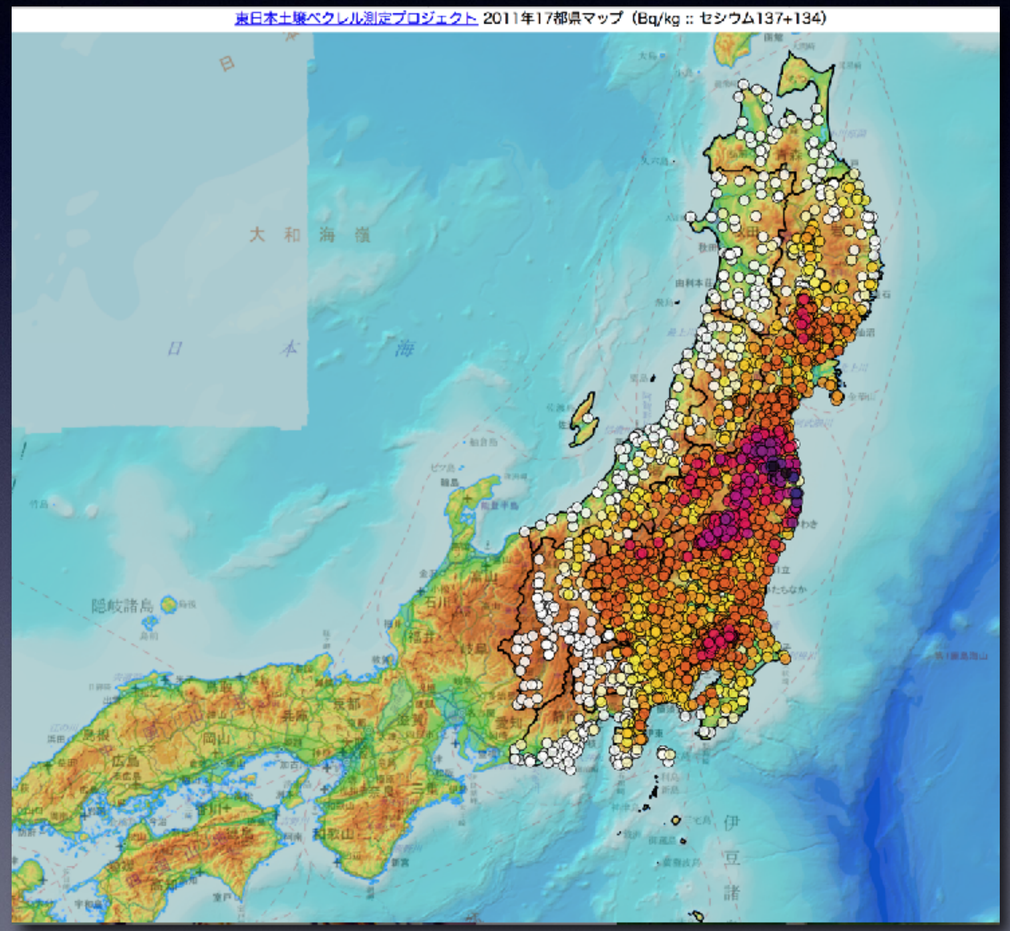
日本原子力研究開発機構
発表

東日本のおけるCs-137の広域拡散と大気降下量
3月12日～4月30日までのシミュレーション

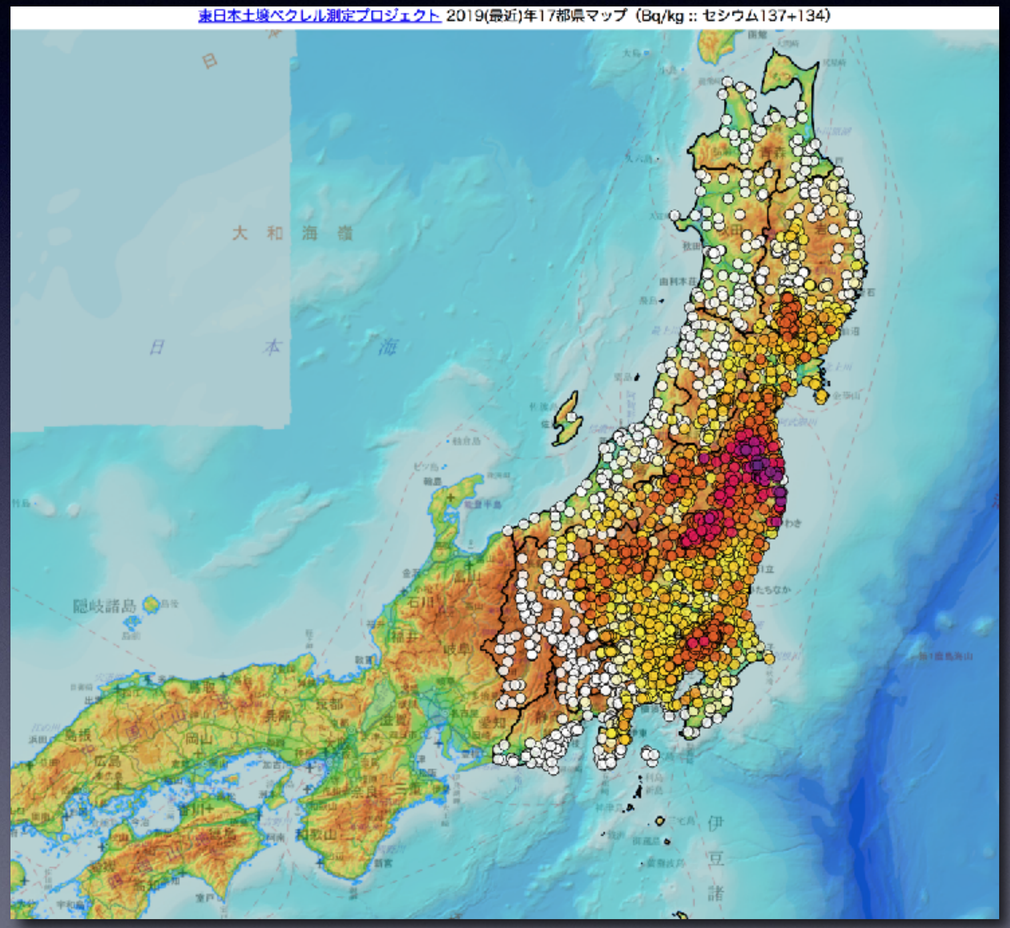


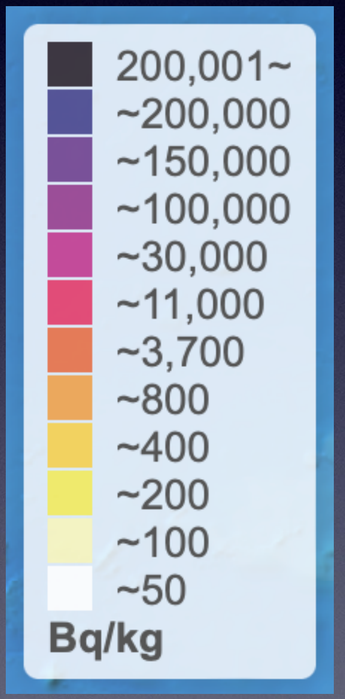
東日本土壌ベクレル測定プロジェクト

2011年



2019年

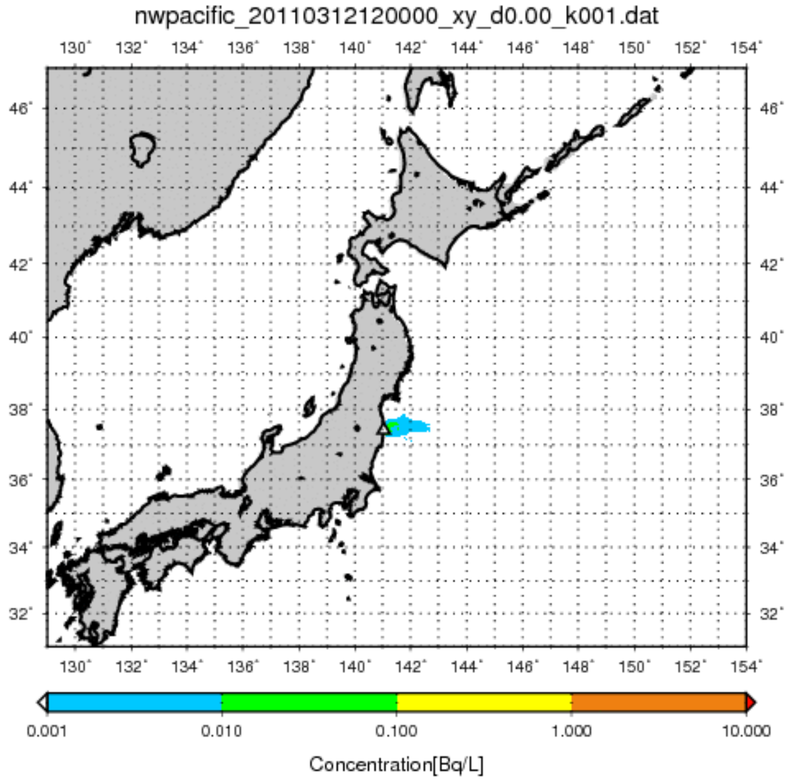




みんなのデータサイトHPから

日本原子力研究開発機構
発表

日本近海でのCs-137
表層濃度分析予測
3月12日～4月28日までの
シミュレーション



青山道夫 筑波大客員教授



2021年11月10日 東京新聞

原子力政策に反対する理由

③ 原子力政策は誰かの
犠牲の上に成り立っているから

ウラン採掘から廃炉まで…

原子力立地審査指針
1964年5月27日　原子力委員会決定

原子炉の周囲は非居住区域であること

非居住区域の周囲は低人口地帯であること

原子炉敷地は人口密集地帯から
離れていること


日本の原子力発電所の所在地
・ 原子力発電所
● 原発の30km圏内
泊
札幌
東通
女川
柏崎刈羽
志賀
福島第一
福島第二
もんじゅ
美浜
敦賀
日本
東海第二
島根
大飯
高浜
東京
大阪
名古屋
広島
浜岡
福岡
玄海
伊方
川内
作成：福島原発事故の真実と放射能健康被害★
http://www.sting-wl.com/japanese-maps

放射能被ばくを伴う原発・廃炉作業

作業員なしには原発は動かせない
廃炉は進まない

『ふくしま原発作業員日誌　イチエフの真実、
9年間の記録』　東京新聞記者　片山夏子

原子力政策に反対する理由

④　「核ゴミ」は
人間の手に負えないから

人体に影響のないレベルになるのに
約10万年を要する

原子力政策に反対する理由

⑤ 核といのちは共存できないから

推進派の人々のいのちも
被ばくから守られるべき

2, あの時、起きていたこと
今、起きていること

あの時、起きていたこと

4つの原子炉の暴走が止まらず、
東日本壊滅の危機に直面



最悪のシナリオ
2011年3月25日作成
原子力委員会委員長
近藤駿介氏

半径170kmの強制避難
半径250kmの避難を認める


最悪の場合
居住禁止になる
170キロ圏内を
みえる化。
泊
大間
東通
女川
柏崎刈羽
福島第一
福島第二
東海
高浜
敦賀
普賢
文殊
美浜
大飯
滋賀
島根
浜岡
上関
玄海
伊方
鹿児島

あの時、起きていたこと

2011年3月15日、大混乱の東京駅

報道するメディアはなかった…
情報の統制？　忖度？

あの時、起きていたこと

雨や雪、偏西風がもたらした
内部被ばく

雪には放射性物質が含まれていた

【県内７地点の環境放射能測定値】

（16日午後７時現在。単位＝マイクロシーベルト／時間）

月日	測定時刻	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市平
平常値		0.04	0.04～0.06	0.04～0.05	0.04～0.05	0.02～0.04	0.05	0.05～0.06
16日（水）	1:00	20.80	2.86	3.80	1.17	0.25	3.76	1.03
	4:00	18.50	2.66	4.10	0.66	0.12	3.76	5.45
	7:00	19.20	2.82	4.00	0.68	0.11	3.88	1.69
	10:00	19.20	3.00	4.00	0.60	0.11	4.03	1.20
	13:00	18.10	2.82	4.00	0.59	0.10	3.68	2.50
	16:00	18.80	3.11	3.80	0.58	0.10	3.67	1.96
	19:00	14.70	2.96	3.40	0.44	0.11	3.61	1.64

※20ミリ・シーベルトは胃のX線1回分の約1/30の照射量。東京・ニューヨーク間の飛行機旅行の照射量は200ミリ・シーベルト。

※測定場所＝県北保健福祉事務所、県中合同庁舎、県南合同庁舎、会津合同庁舎、南会津合同庁舎、南相馬合同庁舎、いわき合同庁舎

福島民報　2011年3月17日



島民報　2011年（平成23年）3月17日（木曜日）　8版（6）

不安の中、笑顔咲く春

県立高合格発表 中通り、会津先行

今春の県立高校入試のⅠ期、Ⅱ期、連携型各選抜の合格発表が十六日、震災の影響により、中通り地区と会津地区の全日制六十校と定時制六校で先行して行われた。このうち、郡山市の安積高体育館は避難所となっており、利用者へ配慮するため恒例の部活動への入部勧誘を実施しなかった。降りしきる雪の中、合格番号を見つけた受験生は家族や友人と喜びを分かち合った。郡山七中の四家武彦君は「（震災で）入学式を迎えられるのか不安だが、もっと深刻な被害を受けた人もいる。自分も頑張らないと」と気を引き締めていた。

同日に発表になった今春の合格者は、全日制がⅠ期、Ⅱ期、連携型合わせて七千七十六人。定時制はⅠ期、Ⅱ期合わせて百五十九人。特別支援学校高等部は二百十七人だった。

浜通り地区の学校は二十二日正午以降、県内全ての高校などで掲示する。避難指示の対象地域の双葉、双葉翔陽、浪江、小高商、小高工の五高校は避難指示が解除され次第発表する。

Ⅲ期選抜の出願者は二十三日から二十五日まで出願し、変更は二十八日まで。

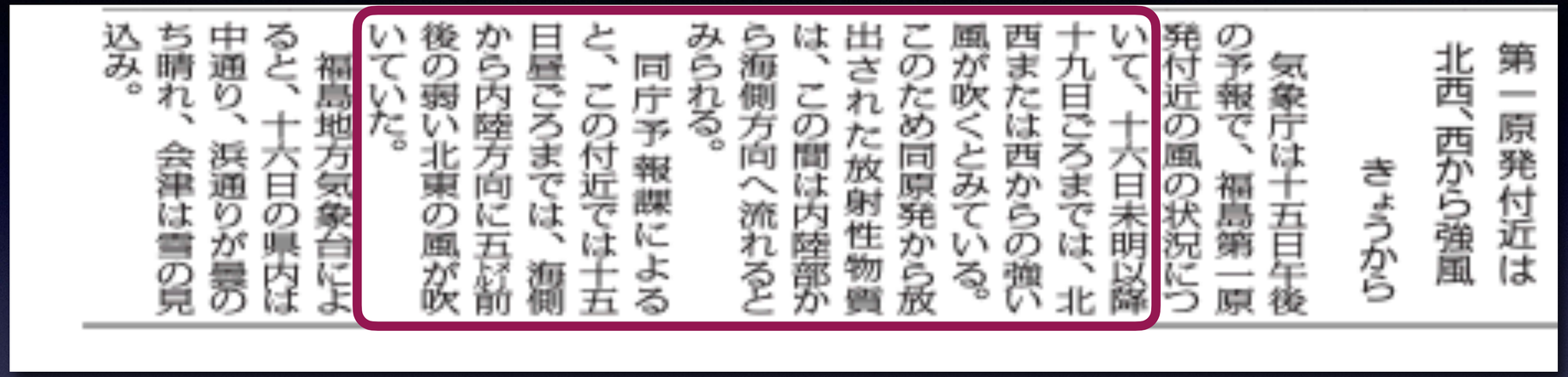
抱き合って喜ぶ合格者たち＝安積高

「今日だけは喜びたい」 長沼高合格 江連さん

須賀川市長沼地域で避難所生活を送っている長沼中の江連文華さん（三）は長沼高普通科に合格した。合格者の掲示板に自分の番号を見つけると、「余震や原発は怖いし、避難所生活も不安があるけど、今日だけは素直に喜びたい」と笑顔を見せた。一緒に訪れた永山清美さん（三）も合格を確認すると、江連さんと抱き合い、感激を分かち合った。しかし、軟式庭球部の後輩の女子生徒が行方不明になっており、「合格はうれしいが複雑な気持ち」と心境を語った。

合格し、笑顔を見せる（右から）江連さんと永山さん＝長沼高、正午ごろ

3月15日は弱い北東の風が内陸部へ
3月16日未明から、強風が内陸部から海側に流れる



第一原発付近は
北西、西から強風
きょうから

気象庁は十五日午後の予報で、福島第一原発付近の風の状況について、十六日未明以降十九日ごろまでは、北西または西からの強い風が吹くとみている。このため同原発から放出された放射性物質は、この間は内陸部から海側方向へ流れるとみられる。

同庁予報課によると、この付近では十五日昼ごろまでは、海側から内陸方向に五㍍前後の弱い北東の風が吹いていた。

福島地方気象台によると、十六日の県内は中通り、浜通りが曇のち晴れ、会津は雪の見込み。

福島民報　2011年3月16日

福島第一原発から空中に放出された
放射性物質の8～9割は、偏西風にのって
太平洋の海と空に流れた

トモダチ作戦で放射線障害に陥った米兵たち



原子力空母ロナルド・レーガン

甲板の除染をする兵士たち



出典 2016年10月6日 神奈川新聞

サンディエゴ裁判所に提訴した弁護団長の証言


リンゼイ・クーパー元水兵

- 脱塩した海水は汚染されており、蛇口やシャワーの水を使ったため内部被ばくした。
- 広範囲に拡がったプルーム（放射能の雲）から、抜け出すのが困難だった。

世界最大の原発はどこ？そこで事故が起きたら？

世界の主要原子力発電所

発電所名	国　名	出力(MW)	炉　型
柏崎刈羽	日　本	8,212	沸騰水型炉(BWR)／ 改良型沸騰水型炉(ABWR)
ブルース	カナダ	6,580	加圧重水型炉(PHWR)
ザポロジェ	ウクライナ	6,000	加圧水型炉(PWR)
ハヌル（蔚珍）	韓　国	5,900	加圧水型炉(PWR)
ハンビット（霊光）	韓　国	5,900	加圧水型炉(PWR)
グラブリーヌ	フランス	5,706	加圧水型炉(PWR)
パリュエル	フランス	5,528	加圧水型炉(PWR)
カットノン	フランス	5,448	加圧水型炉(PWR)
大　飯	日　本	4,710	加圧水型炉(PWR)
紅沿河	中　国	4,440	加圧水型炉(PWR)

※2018年1月1日時点の情報…大飯発電所は2018年3月1日で1、2号機が廃炉となり、出力は2,360MWとなっている。

出典：日本原子力産業協会　世界の原子力発電開発の動向2018

あの時、起きていたこと

瞬く間に始まった
「放射能安心安全キャンペーン」

ニコニコしている人には放射能は来ません

今は国家の緊急時、国民は国家に従うべきです



山下俊一氏
（元甲状腺学会会長）

つまり、あの時、起きていたのは…

「原発安全神話」の崩壊と共に
「放射能安全神話」が始まっていた

「がんばろう、福島！」

SPEEDI情報を出さなかった
初期被ばくを調べなかった
安定ヨウ素剤を配らなかった
年間20ミリシーベルトで学校を再開させた
「緊急時の知る権利」を侵害した

情報や真実、事実を伝えない

被害に合わせて基準値を緩める

この国は子どもや市民を守らなかった

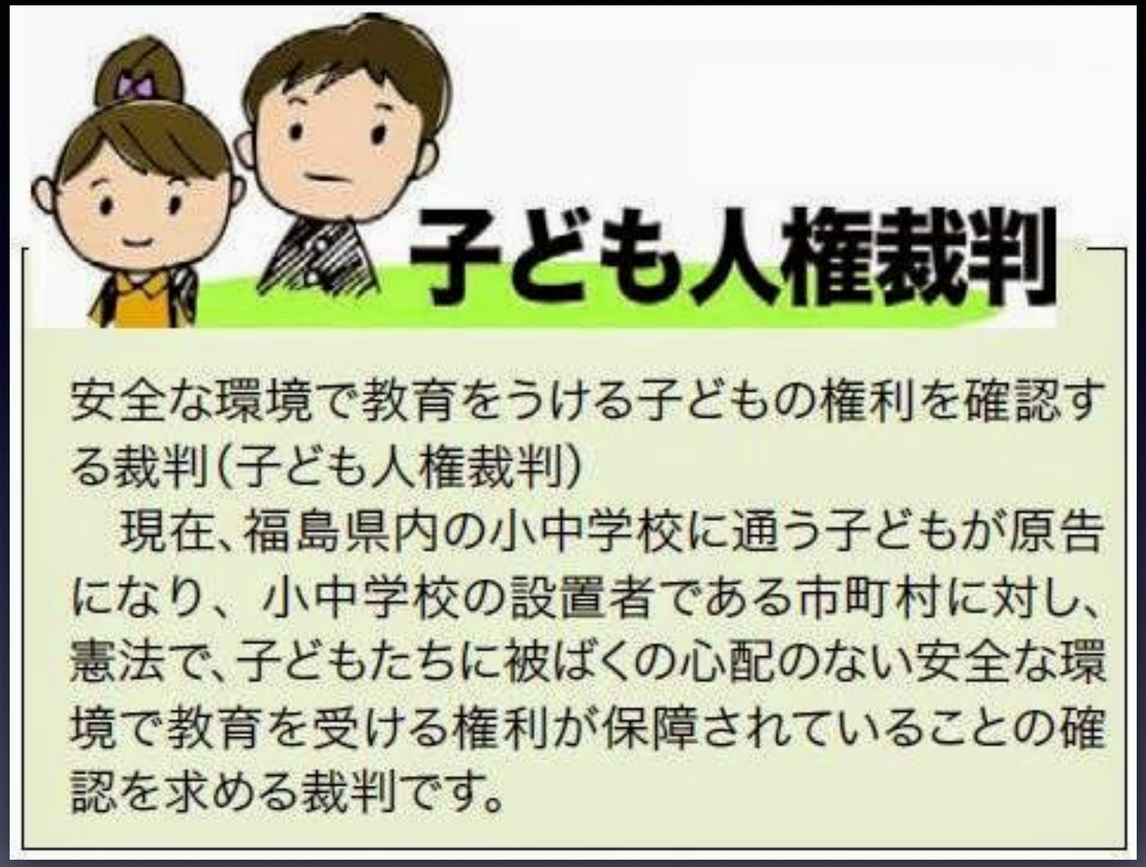
「子ども脱被ばく裁判」の訴え

子ども脱被ばく裁判

子ども人権裁判　親子裁判

2014年8月29日、福島地裁に提訴

被ばくのリスクがない安全な環境で学ぶ権利を！



福島地裁 提訴時

原告

県内の小中学生 35名

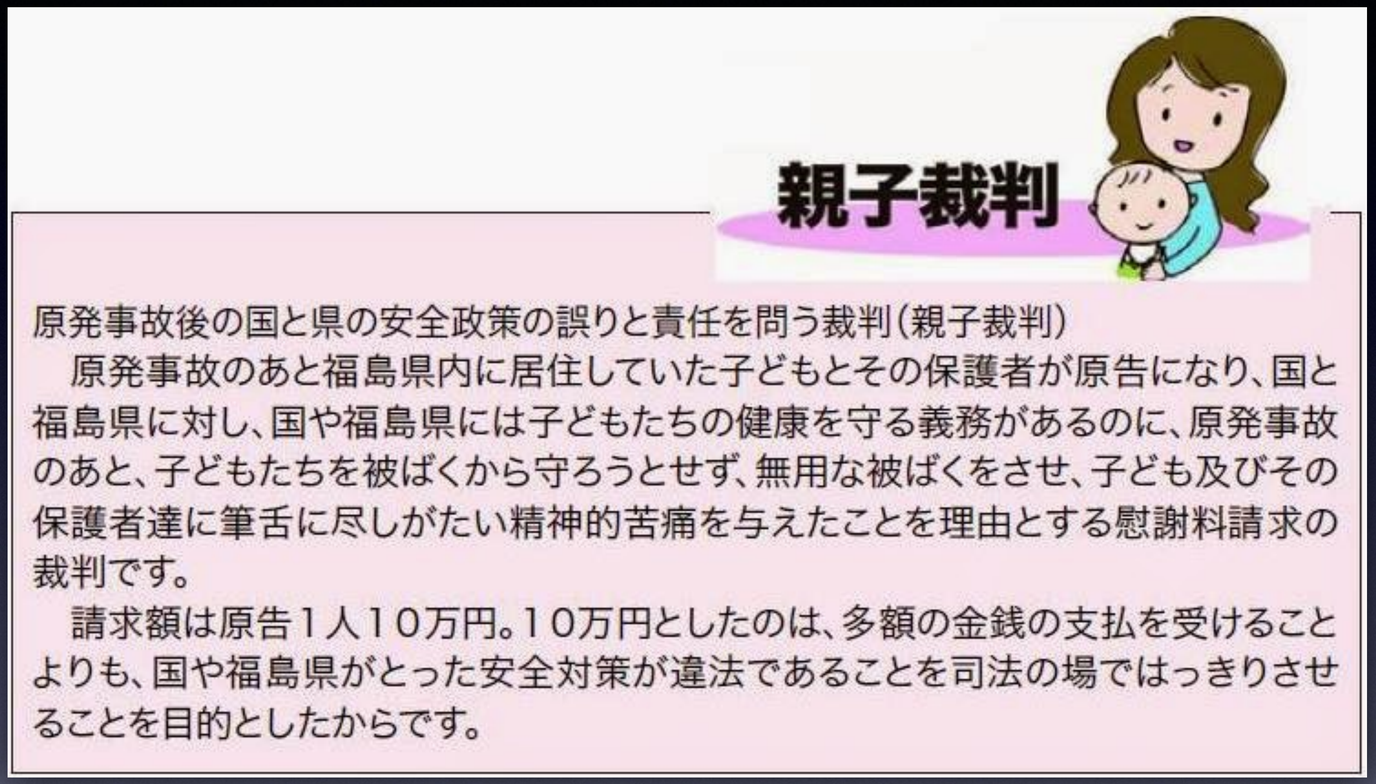
被告

原告が居住する7自治体

争点：長期低線量被ばく、内部被ばくの危険性

被ばくの心配のない安全な環境で教育を！

子どもに無用な被ばくを強いた責任を認めよ！



福島地裁 提訴時
原告166名
原告は事故時、
県内に住んでいた親子

被告　国と福島県

被ばくによる精神的苦痛（損害）への慰謝料
原告1人10万円

親子裁判の争点

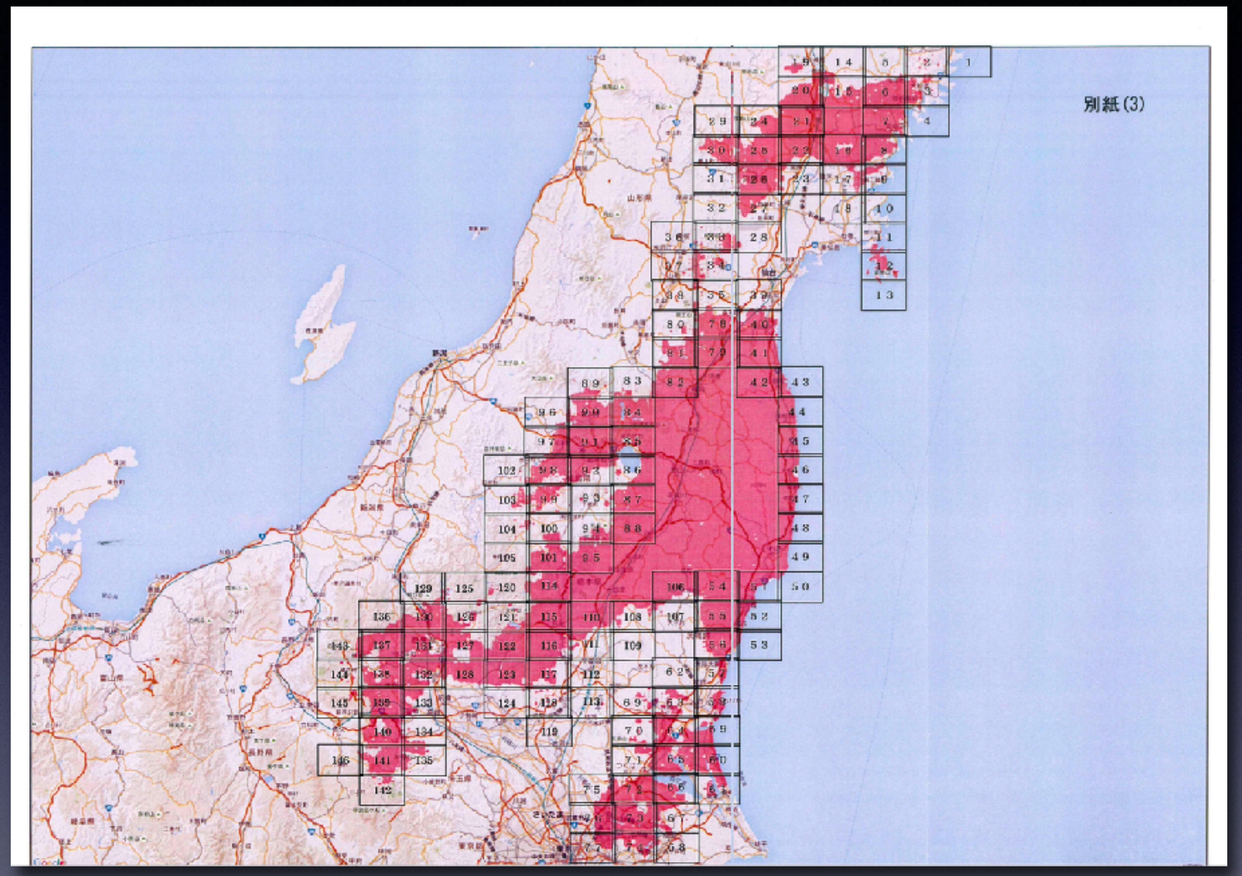
- SPEEDI情報等の被ばく情報 隠蔽問題
- 安定ヨウ素剤の未配布問題
- 年間20ミリシーベルトで学校を再開させた問題
- 避難指示区域外の子どもを避難させなかった問題
- 科学的知見を無視した山下俊一氏の発言問題
- 緊急時の知る権利・自己決定権を保障せよ

裁判が明らかにしたこと

安全な地域とはどこか？
詳細なメッシュ状の地図(252枚)を提出

せめて地図上の一万ベクレル/㎡以内
（放射線管理区域以下）に
子どもを移動させて教育を！

文科省 第六次航空機モニタリング



2012年10月～12月　セシウム134と137の合算
10,000ベクレル/㎡超えを赤く示した

セシウム含有不溶性放射性微粒子の内部被ばくによる健康リスク

2018年4月 第14回口頭弁論期日 意見書提出

河野益近氏 元京都大学工学部原子核工学教室技官
郷地秀夫氏 東神戸診療所　所長

現在の福島の土壌中の放射性セシウムのうち、不溶性のものが占める割合

【元京都大学技官河野益近氏の調査結果】

溶出率

採取順	採取場所	Cs-134の溶出率(%)	Cs-137の溶出率(%)*4)	3σ-error*2)(%)絶対誤差	放射性Csの溶出率(%)
1	○○中学校(福島市)	0.38%以下	0.10	0.035	0.15%以下
2	○○小学校(福島市)	0.56%以下	0.18	0.057	0.26%以下
3	○○中学校(福島市)	0.28%以下	0.08	0.031	0.13%以下
4	○○小学校(福島市)	0.48%以下	0.04%以下	—	0.08%以下
5	○○小学校(福島市)	0.68%以下	0.06%以下	—	0.12%以下
6	○○中学校(福島市)	0.13%以下	0.01%以下	—	0.03%以下
7	○○小学校(福島市)	0.11%以下	0.01%以下	—	0.02%以下
8	○○中学校(福島市)	0.39%以下	0.03%以下	—	0.06%以下
9	○○中学校(伊達市)	0.67%以下	0.06	0.031	0.14%以下
10	○○小学校(郡山市)	1.09%以下	0.34	0.100	0.50%以下
11	○○小学校(田村市)	2.14%以下	0.16%以下	—	0.34%以下
12	○○中学校(いわき市)	0.33%以下	0.07	0.033	0.12%以下
13	○○小学校(いわき市)	1.12%以下	0.3	0.11	0.46%以下
14	○○中学校(いわき市)	4.66%以下	0.8	0.53	1.60%以下
15	○○中学校(川俣町)	0.73%以下	0.14	0.066	0.26%以下
16	○○小学校(会津若松市)	0.40%以下	0.06	0.021	0.11%以下

98%以上が不溶性

2023年1月31日 井戸謙一弁護士 記者レク資料から

「学校環境衛生基準」に
放射性物質の記載がない

「法の欠缺（けんけつ）」
ある問題に対して適用する法律が欠けていること

日本の環境基準

「閾値のない公害物質がある環境下に
生涯(70年)暮らした場合、
発がんリスクは10万人に1人以下に
しなければならない」

ICRP(放射線防護委員会）が提唱する
「低線量被ばくの致死リスクは
１シーベルト増すごとに
約5％増していく」に
当てはめて計算したところ…

年20ミリシーベルトの被ばくによる
致死リスクは
日本の環境基準の「7,000倍」！

公害物質の基準

あなたは7000倍を受け入れますか？

毒物ベンゼンの環境基準（空間線量）
0.003mg/m3

放射性物質の避難基準（空間線量）
20mSv/年

生涯その環境下で生活して発がんリスクが
10万人に1人

【環境省告示　人生70年とする】

生涯その環境下で生活してガンで死亡するリスクが
10万人に7000人

【ICRPによる　人生70年とする】

2023年1月31日 井戸謙一弁護士 記者レク資料から

年1ミリシーベルトの被ばくによる
致死リスクは環境基準の「350倍」！

一般公衆年間被ばく限度量１ミリシーベルトは
安全を保障しているものではない
被ばく『受忍』

福島の司法が福島の子どもを守らなくて、どうする！



2021年3月　福島地裁



2023年12月　仙台高裁

4回の最高裁前抗議行動と申し入れ
口頭弁論開始を求めるハガキアクション







最高裁第二小法廷

草野耕一様、岡村和美様、尾島明様、三浦守様

原発事故被害者の声を聴いてください！

2024.7.20

まるで3.11福島原発事故がなかったかのような振る舞いのこの国に多くの子どもたちの、そして市民の命が脅やかされています。今なお核の被害は続いています。

裁判官のみなさま、記録にきちんと向き合い、事実認定のおかしさを指摘し、まっとうな判断をして下さいますようお願いいたします。

住所 東京都八王子市

氏名 [redacted]

最高裁第二小法廷

草野耕一様、岡村和美様、尾島明様、三浦守様

原発事故被害者の声を聴いてください！

私は2011年10月19日生まれです。今、中学3年生です。私と同じ年の人が苦しい思いをし、将来 [illegible] 感じているのはイヤです。その人のパパ・ママが悲しんでいるのもイヤです。悲しい思いをしている人の助けになって下さい。

住所 茨木市 郡山

氏名 [redacted]

2024年11月29日

最高裁第二小法廷 棄却決定

同年12月4日

最高裁棄却決定に対する抗議声明

2025年2月4日

呆れ果てても、諦めない！

子ども脱被ばく裁判総括集会

「司法に物申す！

被ばくの問題と訴訟で明らかになったこと」


子ども脱被ばく
裁判 総括の会
反対
みらいある
ちいさなひと
たちを
まもろう
脱・被ばく


stand up for children
子ども被ばく裁判
子どもは未来
原発事故は国の責任
子ども脱被ばく裁判を支える会西宮
原発 NO!!




子ども脱被ばく裁


子ども脱

子ども脱被ばく裁判を振り返って

国策の闇に斬り込んでいった

「放射能安全神話」は司法も侵している

樋口英明さんメッセージ

司法に物申すまでになった私たち

これからも…

脱被ばくの社会を目指す

子ども脱被ばく裁判の意義を伝える

311子ども甲状腺がん裁判などの支援

甲状腺がん悪性疑いは397人に…

2025年2月5日 県民健康調査検討委員会





海や大地に放射性物質を
意図的に拡散！
放射線被ばく防護の原則に反している！

「放射線被ばく防護の大原則」

・放射線量には安全なしきい値はない

・放射性物質は閉じ込めなくてはならない

『ALPS処理汚染水』の海洋投棄

2023～24年度は10回の海洋放出

総量　78,285立方㍍

トリチウムの総量 14.8兆ベクレル

2024年11月5日 福島県発表

ALPS処理汚染水の海洋投棄に反対する理由

漁業者との約束を反故にした

意図的かつ追加的な投棄は許されない

ALPSはまともに稼働していない

高濃度汚泥スラリーが増え続けている

希釈しても放射性物質の総量は変わらない

内部被ばくは国境や世代を越えた脅威

安全で根本的な解決になる代替案がある

何をどれだけ流すのか東電も分からない

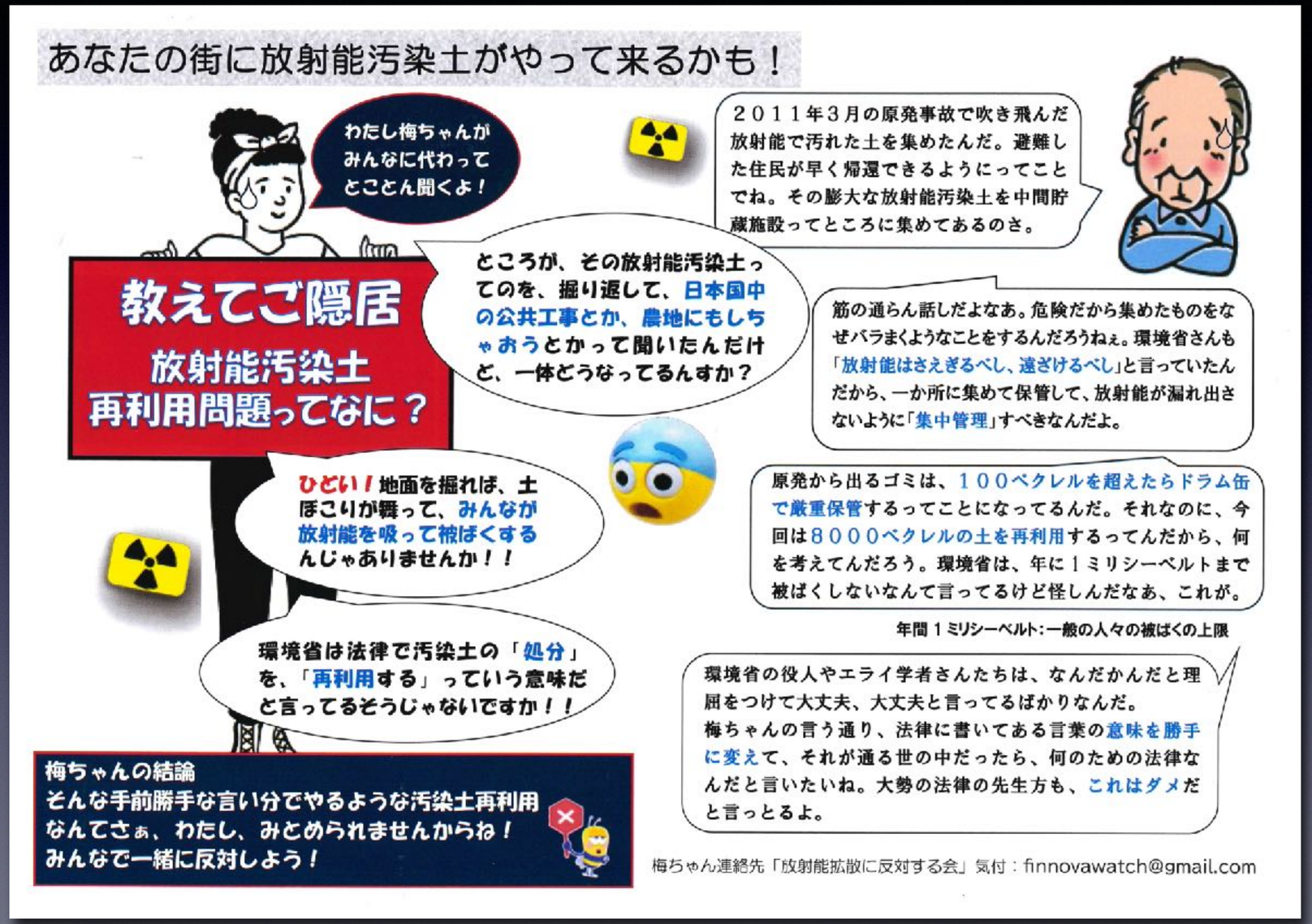
更なる問題は…

「風評被害対策」に巨額税金が投入されている

メディアを押さえ、教育現場に介入し、
子どもを利用する安全安心キャンペーン

放射能汚染水の海洋投棄は
倫理的、科学的、経済的、
環境保全、国際関係の観点から
誤りである。

全国での「放射能汚染土」の再利用問題



放射能拡散に反対する会

原発事故被害自治体だけでいいのか？

毎日新聞
19 社会 統12版 2025年（令和7年）2月25日（火）

双葉町長「覚悟持つ」

除染土再利用検討 環境相と面会

東京電力福島第1原発（福島県双葉町、大熊町）事故後に福島県内の除染で出た土を巡り、双葉町の伊沢史朗町長が町内での再利用を検討していることを毎日新聞の取材に答えたのを受け、浅尾慶一郎環境相と伊沢氏が24日、福島市で面会した。伊沢氏は面会後、報道陣の取材に「私の考えということで、理解醸成を進めるため、我々は覚悟を持って取り組まなければならないということを話した」と述べた。



福島復興再生協議会に出席する福島県双葉町の伊沢史朗町長（右端）、内堀雅雄知事（左端）ら＝福島市で24日、松本ゆう雅撮影

24日に福島市であった国や県などが復興について話し合う福島復興再生協議会の前に非公開で面会した。

伊沢氏は報道陣に、首都圏など県外で理解醸成が進んでいない現状を踏まえた「個人的な私見」とした上で、「県内で理解醸成が進まない中で首都圏の皆さんに協力を仰ぐのはまず難しいだろうと考えた。将来の町での造成工事などによっては町内で再生利用する可能性があるという考えは変わらない」と説明した。

浅尾氏は面会後、報道陣に「（伊沢氏は）最終処分、再生利用がなかなか進まないということで心配されていた。しっかりと国もやっていく」と述べた。再利用の対象地域については「特に県外でという制限はないと理解している」との認識を改めて示した。

一方、内堀雅雄知事も協議会に先立って伊沢氏と会談したことを明かし、「残り20年で本当に県外最終処分が実現できるのかという強い危機感を抱く町長の思いをうかがった」と述べた。

除染土は、2045年3月までに県外で最終処分すると法律で定められている。国は除染土のうち、放射性セシウム濃度1キロ当たり8000ベクレル以下の土を全国の公共事業などで再利用し、最終処分量を減らす方針を示しているが、見通しは立っていない。

【松本ゆう雅、岩間理紀】

毎日新聞 第53652号 明治5年創刊 明治35年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社2025（3刊）

双葉町 除染土再利用検討

全国機運醸成狙い

国・県に通知



除染にともなって出た土などが保管されている中間貯蔵施設＝福島県大熊町で18日、窪田撮影



東京電力福島第1原発（福島県双葉町、大熊町）事故後に福島県内の除染で出た土について、双葉町が町内で再利用することを検討し、国と県に意向を通知していることが判明した。伊沢史朗町長が毎日新聞の取材に明らかにし、「町のインフラ整備で必要になったタイミングで、住民や議会の理解を得ながら考えていきたい」と話した。

放射性物質に汚染された除染土は、双葉、大熊両町にまたがる中間貯蔵施設に運ばれ、東京ドーム約11杯分の約1405万立方メートル（1月末現在）にのぼる。2045年3月までに国が県外で最終処分するとの法律で定められている。

一方、国は除染土のうち放射性セシウム濃度1キロ当たり8000ベクレル以下のものについては全国の公共事業などで再利用し、最終処分量を減らす方針を示している。道路などの盛り土として再利用するが、国は安全性に問題はないとするが、再利用の受け入れを表明している自治体は福島県内外ともなく、再利用の見通しは立っていない。

実証事業も福島県内では飯舘村長泥地区の農地などで行われているものの、県外では東京都新宿区や埼玉県所沢市で住民らの反発によって頓挫している。24年12月には、再利用や最終処分の具体化に向けて全閣僚が参加する会議も設置された。

こうした状況を踏まえ、伊沢町長は取材に「首都圏の人たちへの理解を進めるにはまずは福島県内で取り組む必要がある。誰かが先べんをつけないと動かない。（廃棄事故の）犠牲になった自治体が取り組むことで、このままでいいのかという機運を県内で盛り上げたい」と述べた。また福島第1、2原発による電力は首都圏を「心とする東電管内に供給されていたことから「首長や歴史をかえってもらわないと協力は進まない。恩恵を享受していた地域が『俺は関係ない』でいいのか考えるきっかけになれば」と訴える。

町議会や町民への提案時期については「一日たりとなく私の任期4年（'28年3月まで）の中でと思っている」とし、安全性を前提に理解を得た上で、土壌造成用の盛り土などで活用するとを想定しているという。

双葉町は原発事故で約11年にわたって全町避難を強いられた。今月1日現在の居住者数は81人と、住民登録人口（5279人）の約3%にとどまる。

【窪田淳、植沼茂行】

MAINICHI 毎日新聞
2月21日（金）
2025年（令和7年）
発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒101-8051 電話（03）3212-0321
毎日新聞東京本社



NEWSLINE

公選法改正案審議入り3



高橋勇悦撮影

選挙ポスターの品位保持を定めた公職選挙法改正案が国会で審議入り。SNSや「2馬力」への対策も協議。

米朝会談で拉致提起合意 21



平田明浩撮影

石破首相は拉致被害者家族と面会。トランプ氏が、米朝首脳会談実現なら拉致問題を提起すると明らかに。

3，会津放射能情報センターの活動

2011年7月11日に発足
九条の会の仲間と共に

あとから来るいのちのために
事実を知る力と
真実を見抜く力を身に着けて
本当に重要なことを見分ける

測定を続ける理由

現状を確認するために



未来の基準のために



会津放射能情報センターNEWS

住所：〒965-0877 福島県会津若松市西栄町8-36　Tel & Fax：0242-23-9401
開館日：水木金曜 10時～16時　第1,3 二曜 10時～12時（国民の休日は除く）
E-mail：info@aizu-center.org　公式 blog：http://ameblo.jp/memorikisi-aizu/
Web　：https://aizu-center.org

2024年12月15日発行　第47号　会津放射能情報センター　検索

「平常時の数値のデータ化」始めます！

会津放射能情報センター 代表 片岡輝美

10月26日、第14回総会にて第13期活動と会計の報告が承認され、第14期の歩みが始まりました。変わることのない温かいご支援に深く感謝いたします。

センターNEWS第46号で特集したように、今夏、北海道保養プログラムが節目を迎えました。また本号は新潟総会との共催プログラム「こいが定はうす」を同じくしあたり、同総会のみなさんをお訪ねした折の座談会を掲載しています。

総会でも保養プログラムと「こいが定はうす」の終結の経緯が確認され、今後は他団体の保養プログラムを紹介し、引き続き参加費の補助を行っていく方針を承認しました。

その2週間後、双葉郡浪江町にお住まいの子育て世代の女性からメールを頂き、その内容に何とも言い難い感情を覚えました。「今になって保養を必要としているご家庭や支援を必要とする方達との繋がりが増えています。個人、団体含めの申し込みを教えてください。」

福島第一原発事故当時、子どもだった人々が子育て世代になり、事故があったことを改めて知り、保養の必要性を感じ始めているのです。これが福島原発事故災害13年目の現実です。

その方にプログラム終結の経緯を説明し、今後の活動方針をお伝えしたところ、「まずは私が個人会員となって、できることを行いながらも長く続け、保養が必要な方の繋ぎ役になれたらと思います」と、元気なお返事が届きました。そうなのです。私たちができることには限りがあります。でも限りがあるからこそ、次に繋がる広がりも生まれてくるのです。

原発事故直後の数年間、情報センターは日常的に親子が笑い、不安や辛さを語り励まし合う会がありました。時が過ぎ、更に県外へ避難（移住）する家族や自宅に戻る家族が続き、センターはすっかり静かになりました。私たちは賑わいや人数で活動意義を確かめたくなるものです。ですが「そこにあり続けること」の大切さを折々に気づかされます。前述の女性からも「長い活動、本当にありがとうございます」と励まされ、これから一緒に歩み始めたいと願うのです。

第14期に入り、全国の皆さんにご協力いただきたいことがあります。情報センターの大切な活動である「放射線量の測定」は汚染地域の現状を把握するためにこれからも続けていきます。更に新たな活動として「平常時の数値のデータ化」を始めます。これは福島第一原発事故の影響の少ない地域の作物や土壌などを測定し、「何ちがいにとのスタンダード」を作っていくことが目的です。情報センターは検事故直後に立ち上がった市民測定団体SAFECASTと共に、移動計測機ピーガイガーを車輌に搭載し、この13年間の測定回数は1,166回、測定箇所は延べ427万地点となりました。SAFECASTメンバーは世界中で測定し、平常時の数値を収集しています。

13年前、私たちは3.11前の土壌や作物などの放射線量が分からず、比較できる数値がなく大きな不安を感じ右往左往しました。ですから、市民が「平常時の数値のデータ化」を行うことは、緊急時の数値を素早く確認し、無駄なリスクを軽減することになります。送っていただきたいものや送付方法は本号最終頁に掲載してあります。ご協力をお願いいたします。

今年7月3日、東京新聞「こちら特報部」は「山菜から基準超えセシウム 原発事故から13年 影響なお」と報道しました。私たちもこの数年間の測定で同様の結果を確認していますので、間もなく会津若松市に対し来春の山菜の最盛期の前に市民に注意喚起を促すよう申し入れを行います。このように今後も蓄積されたデータを日常生活の無駄なリスクの軽減にも役立てたいと思います。

第13期は時宜にかなった学習会を開催しました。今期も本当に重要なことを見分けるために学びを続け、事実を知る力、真実を見抜く力を身に着けていきます。皆さんもぜひご一緒してください。



会津放射能情報センター 主催

蟻塚亮二氏 講演会

4月5日（土）13：30～

Zoom配信あります

小さな存在、若い世代と共に…

「そもそも、なぜ
そんな危険な原発を
始めたのですか？」
小学2年生の問い

自分の勘や疑問を大切にする

「疑うこと」は考え始めるきっかけ

考えること 悩むこと
怒ること 泣くことは
いのちに誠実に向き合うこと

原子力政策を手放さない国だからこそ
憲法に保障される主権者の権利を生かす

日本国憲法 第25条

「すべての国民は、
健康で文化的な最低限度の
生活を営む権利を有する」

「安心して生きる権利」

日本国憲法 第25条 第2項

「国はすべての生活部面について
社会福祉、社会保障及び公衆衛生の
向上及び増進の努めなければならない」

「国の責任」

日本国憲法 第12条

「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」

大人としての責任を果たす

呆れ果てても、諦めない！

本日のお話を終わるにあたり…

明日の自由を守る若手弁護士の会／あ…
@asuno_jiyuu

私たちが主権者としてできることは、
・忘れないこと。
・しっかり言葉にすること。
・あきらめないこと。
地道に続けるのはしんどいけれども、「自分なりの形」でいいし、微力でいい。ヒーローなんていないのですから、微力を集めればいい。憲法は、必ず微力が集まることを信じて書かれています。



128　コメント34件　シェア47件

3月7日 650回目のスタンディング



原発ゼロ金曜行動 in 会津

あとから来るいのちのために…





ご静聴 ありがとうございました。